

地域の課題をとらえて

4氏が一般質問



西澤 裕之

・幌延深地層研究センターの推進と計画及び地域振興について
・幌延町の組織機構改革について

幌延深地層研究センターの推進と計画及び地域振興について

質問 500mまでの掘削について、前町長とはどのような引き継ぎがなされ、また原子力研究開発機構とは話し合いをしたのか。

町長 当初計画で示された500mの坑道建設について、関係機関に強く要請しているとの引き継ぎをした。また、原子力機構との話し合いについては、計画どおりに進めたいとの話を確認している。

質問 商工業者の中には、先声が見えないことから不安で止まっている経緯も含め、計画内容等をお知らせする必要があったと考えるが。

町長 明確になった情報についてはお知らせしていこうと考えているが、そこは今も昔も変わっていないと考えている。しかし、経緯の説明が途切れただという誤解を受けた部分もあり、今後については早急いろいろな形でお知らせしていきたいと考えている。

質問 新たな研究や関連施設誘致の情報収集を、どのように行うのか。今後の地域振興の可能性をどう考えるか。

町長 国が示すエネルギー基本計画を注視するほか、関係機関による説明会等を通じて情報の収集につとめている。

質問 国との関係を構築する上で、担当課が情報収集等

わが町の人口減少・少子高齢化対策について



無量谷 隆

・わが町の人口減少・少子高齢化対策について
・名林公園の利用について

の要請行動を定期的に行ったほうが良いと考えるが。

している。効率的で機能的な行政運営を図る上でも、組織機構の見直しの時期だと考えるが。

町長 原子力機構を通して情報収集等はしているが、今後はそのような要望を踏まえながら、何が出来るかを担当部署と検討し、関係づくりに努めていきたい。

質問 職員の削減、抑制を行った結果、人件費が抑えられ健全な財政運営が図られた一方で、職員の年齢構成にバランスを欠く結果になったと感

町長 4課・グループ制を導入して10年目を迎えた。近年の継続的な新規職員採用により、年齢構成等も大幅に変更した。更に効率的で機能的な行政運営を図るためには、組織機構の見直しが必要な時期に差し掛かっていると感じており、今後内部で調整を行っていく。

わが町の人口減少・少子高齢化対策について

質問 住宅環境の整備が必要と考えている。幌延町は、町外から通勤して働く人が多く見受けられるが、住宅の数が

少ない。新たに住宅を建設するための補助金制度や税の軽減施策、町有地の貸付制度が必要と考えるが。